



人と環境の調和

製品環境委員会

■ メッセージ



製品環境委員長
専務取締役
齋藤 和幸

技術開発部門では、「人と環境の調和」を常に意識し活動を進めています。

- ・地球温暖化防止、大気汚染防止に寄与する製品を通して環境へ貢献
- ・生産活動で使用するエネルギー、化学物質、発生する廃棄物、熱、騒音等をミニマムにするための製品設計、生産設備・工程設計、作業の事前検討の実施
- ・環境負荷物質を使用しない、環境・人にやさしい材料の開発
- ・環境変化を予測し、素早く対応できる研究開発の推進

以上の基本方針のもと、今後も着実にスピードをもって活動を進めます。

■ 製品としての環境への貢献 ⇒ P4 環境対応製品と環境性能

摩擦低減によるCO₂削減

軸受事業

摩擦・摩耗・潤滑技術であるトライボロジー専門メーカーとして摩擦を減らすことにより、エネルギー効率を高め、燃費向上によるCO₂低減に寄与していきます。

排出ガス浄化

組付事業

将来の排出ガス規制を視野に入れ、EGRバルブ、DPF再生用絞りバルブを中心にNOxとPMの低減に寄与していきます。

環境負荷物質低減

全製品群

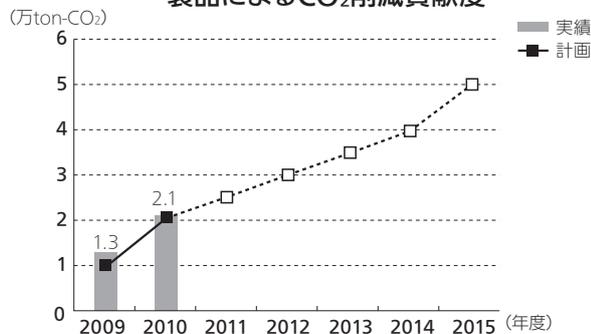
ELV、RoHS指令等の規制物質である鉛、カドミウム、六価クロム、水銀は勿論PFOA(パーフルオロオクタン酸)を自主的廃止によりさらに安全な製品を提供していきます。

■ 社会と製品のつながり

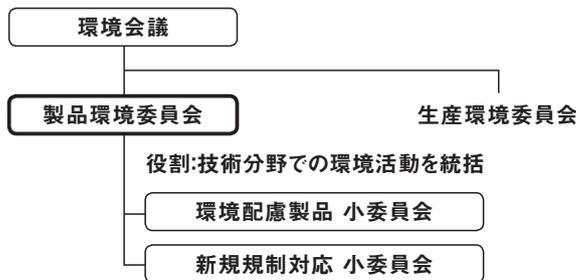
自動車の燃費改善によるCO₂低減は、地球温暖化防止の大きな役割を担っています。当社では、燃費改善に寄与する部品の提供により、地球温暖化防止に貢献しています。

特に、RAコーティングエンジンベアリングは摩耗が少なくアイドルストップエンジンと相性が良いとされています。

製品によるCO₂削減貢献度



■ 製品環境委員会 組織図



■ 偏心溝エンジンベアリング ～環境技術 トピックス～

軸受部での必要潤滑油量を削減した、偏心溝エンジンベアリングを開発しています。全回転域での油量15～20%を低減し、エンジンメカロスに1～2%ほど低減します。摩擦ロスを低減することで搭載車の燃費向上に寄与し、一般社会の自動車由来CO₂削減に製品で貢献しています。

